

8月うぶやま天文台イベント②

衝を迎える土星を 観察しよう



天空が広がるうぶやまの高原は、残暑の季節を迎えました。環（わ）のある惑星として人気の土星が8月27日に「衝」となり、観察の好機を迎えます。衝とは、太陽系の天体が地球から見て太陽のちょうど反対側に来る瞬間のことです。衝の頃の土星は、地球との距離が近くなることでより明るくなり、衝の前後数日間は一、四等級という明るさで輝きます。さらに、見かけの直径（視直径）も大きくなっていて、望遠鏡で拡大すると見応えのある様子が観察できます。さらに衝の頃の土星は、太陽が沈む夕方頃に、東の空から昇り、太陽が昇る明け方、西の空に沈むので一晩中見ることができます。観察しやすいシーズンになります。

土星は、美しい環を持つ惑星です。木星、天王星、海王星にも環がありますが、望遠鏡で見事な環を見ることができるのは土星だけです。望遠鏡を持っている人はぜひ土星に向けて、他の惑星とはまったく違う興味深い姿を楽しんでください。大きな望遠鏡で見ると、環の構造や本体の縞模様などを見ることができます。機会があれば地域の天文台や科学館で開催される天体観望会に参加してみてください。

期 日： 令和5年8月27日（日）
時 間： 午後8時～午後11時
場 所： うぶやま天文台
（熊本県阿蘇郡産山村大字大利585ファームビレッジ産山内）
観察対象： 土星 他
持参物： 星座早見盤（一般参加者で持ってない方には当日配布します）
料 金： 村内の方・・・全員無料
村外の方・・・高校生以上300円 小中学生200円
未就学児無料

天候不良で実施できない場合は延期します。その場合は、延期日を再度お知らせ端末で連絡します。

上記につきまして、産山村外の方は産山村教育委員会までご連絡下さい。

【お申込み・お問合せ先】

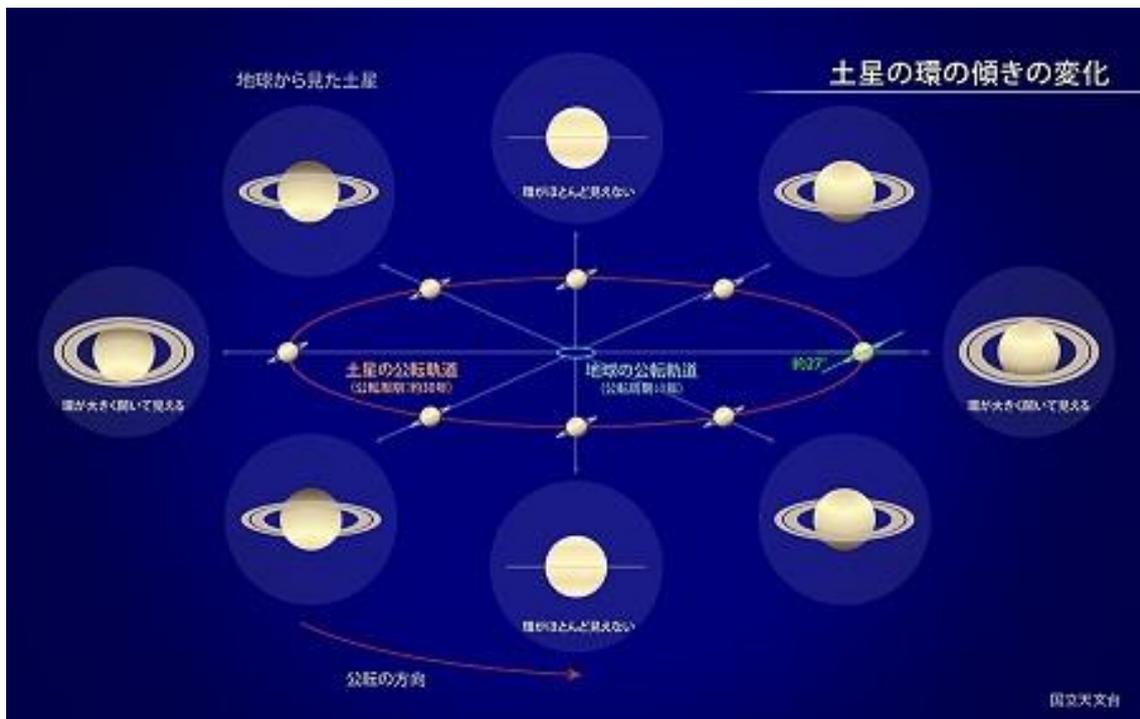
産山村教育委員会

TEL：0967-25-2214

FAX：0967-23-9670



最近の土星 (クレジット:国立天文台)



土星の環の傾きの変化

土星の環は約15年周期で傾きが変わり、その開き方が変化して見えます。2017年頃には環が最大に傾いていましたが、2023年は開き方がだいぶ小さくなり、細い環となって見えるようになりました。2年後の2025年には環を真横から見るようになりますが、環の厚みは大変薄く、環が一時的に消えて見えなくなります。もし、望遠鏡でこのような土星を見る機会がありましたらこのような環の見え方の変化にも注目して観察してみましよう。